学力向上に向けた授業改善のポイント（小学校国語）

県北教育事務所

◇　物語を読み、心に残ったことを説明する（「読むこと」）

「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめる」（第５・６学年「読むこと」）に関連する問題です。

＜県北地区の子どもたちは…＞

A4	1	2(正答)	3	4	無解答
県北	2.6	69.9	20.7	6.6	0.2
県	2.7	70.8	20.0	6.4	0.1
全国	2.5	74.0	17.3	5.8	0.3

誤答で多いものは、「３」（20.7 %）です。人物の心情が情景描写に暗示されていることが捉えられず、「そよぎ」は「音」、「火の海」は「激しい」と、安易に関係付けて読む児童が２割います。

4　中西さんは、武鹿悦子さんが書いた【くらやみの物語】を読み、心に残ったことについて説明することにしました。次の【物語の一部】をよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

■物語のこれまでのあらすじ
五年生の夏休みの終わりに、コウタは、カクロウをふくめた塾の仲間と花火大会を計画していた。お金を出し合って買った花火は、コウタの家の物置に入れていた。しかし、その花火は計画の当日にコウタの母親に見つかり、水につけられてしまう。コウタは、そのことをカクロウに伝え、カクロウと自転車で仲間のもとに向かい、報告をする。そこでコウタは仲間の一人に厳しくせめられてしまう。

【物語の一部】

「気にするなよ」
と、カクロウはいった。
「のれよ。」
コウタは、くびをふった。
そうか、といって、カクロウは、気がかりそうにふり向きながら遠ざかっていった。
（家になんか帰るもんか。）
コウタは、歩きだした。
（……だれもいないところへ行くんだ。）
家なみが切れて山道にかかると、カナカナと、草むらの虫の声が、はりさけそうにひびいてきた。
草がそよぎをとめ、草の穂波の向うに沈む日が、あたり一面を火の海にしている。
正面からダ日にむかうとき、コウタは、目をほそめ小手をかざして歩いた。
セミ採りに一、二度きたことのある小さいトンネルが見えてくると、コウタは、かけこんでいって思いっきりの声でさけんだ。

（武鹿悦子「くらやみの物語」による。）

（問い）　中西さんは、特に心に残った文として ――― 部を取り上げ、その理由について説明しようと考えています。理由として最も適切だと考えられるものを、次の１から４までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　登場人物の行動から、コウタのあわてている様子が伝わってくるから。
2　景色や様子を表す表現から、コウタのいかりやくやしさが伝わってくるから。
3　音を表す表現から、山の静けさと海の激しさが伝わってくるから。
4　登場人物の会話から、おたがいを思う気持ちが伝わってくるから。

【H30全国学力・学習状況調査Ａ問題　4】

＜学習指導に当たって＞

登場人物の心情について、情景描写を基に捉える

物語を読んで心に響く叙述を取り上げ、その叙述を取り上げた理由を考えます。象徴性や暗示性の高い表現、メッセージや題材を強く意識させる表現などに着目させ、自分の経験や知識と照らし合わせて考えをもつことが大切です。（参照）「言語活動事例集」P59～60

◇　目的や意図に応じて推薦する文章を書く（「書くこと」）

「自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考える」（第５・６学年「書くこと」）に関連する問題です。

＜県北地区の子どもたちは…＞

B2	1(正答)	4	5	6	8	以外
県北	14.6	30.4	9.5	4.6	19.9	17.5
県	13.5	31.8	8.9	4.4	20.2	17.7
全国	13.5	31.7	7.9	5.9	17.2	18.7

誤答で多いものは、「４」（30.4 %）です。紹介文から「よくかむこと」は取り上げて書いているが、保健室の先生の話から「唾液で口中をきれいに保つ」ことを取り上げて書くことができない児童が３割います。

2　星野さんは、給食の献立の一つである「かみかみあえ」のよさをもっと知ってもらい、各家庭でもメニューの一つに加えてほしいと思っています。次は、星野さんが以前書いた「かみかみあえ」についての【紹介する文章】と、それをもとにしておうちの人に向けて書いている【おすすめする文章】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【おすすめする文章】

「かみかみあえ」は、するめが入っているあえ物です。よくかんで食べることから、このような名前がついています。おうちの人に、この「かみかみあえ」を、サラダやあえ物のメニューとしておすすめします。
すするめのほかにも、にんじんやきゅうり、もやしなどの野菜が入っていて、栄養のバランスやいろどりも考えられています。中華風ドレッシングの味やすするめのうまみが野菜にしみこんでいて、たまらないおいしさです。
特におすすめしたい理由は、次の二つです。
一つ目の理由は、「かみかみあえ」が、人気のこんだてであることです。
六年一組で以前行ったアンケートでは、サラダやあえ物のうち、好きなこんだての上位三つに入っていました。六年一組では、「ツナマヨサラダ」と同じくらい人気があるこんだてです。きっと、ほかの学級でも好きな人が多いと思います。
二つ目の理由は、「かみかみあえ」にむし歯を防ぐ効果があることです。
同じサラダやあえ物の中で人気のこんだての一つである「ツナマヨサラダ」と比べると、「かみかみあえ」の方が、よりむし歯を防ぐ効果があります。［　　］「かみかみあえ」は、おいしくて、みんなに人気があり、歯の健康を保つことにもつながる「かみかみあえ」をぜひ、おうちのメニューの一つに加えてください。

【保健室の先生の話から分かったこと】

食べ物をよくかむと、
- 口のまわりのきんにくを動かすことになり、のうの働きが活発になる。
- だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくい。
- まんぷく感が得られ、食べ過ぎにならない。
- 食べ物本来の味が分かるので、うす味の食事に慣れる。
- だ液の量が増え、消化がよくなる。

二　星野さんは、「かみかみあえ」のむし歯を防ぐ効果に着目して【おすすめする文章】の［　　］を書くことにしました。そこで、以前メモしていた【保健室の先生の話から分かったこと】を取り入れてくわしく書こうとしています。［　　］に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

【H30全国学力・学習状況調査Ｂ問題　2二】

＜学習指導に当たって＞

目的や意図に応じて、文章の構成を考える

推薦文では、目的に応じて推薦する物事のよさを捉え、推薦理由を明確にして書くことが大切です。そのためには、構成を工夫したり、他のものと比較して適切な内容を取り上げて詳しく書いたりすることが大切です。また、多くの人に推薦や紹介をするためには、取材・構成・記述・推敲・交流の段階で、相手に分かりやすい内容か、推薦理由が明確か、データに信頼性があるかなど、自分の考えを見直す場面をもつことが大切です。（参照）「言語活動事例集」P49～50

☆　自分の考えが、どの叙述に基づいているのかを明らかにしながら表現させましょう。
☆　自分の考えを広めたり深めたりする学習活動を指導過程の中に位置付けましょう。